area 6 豊里大橋〜大阪湾

豊里大橋→城北公園→毛馬閘門→十三大橋→淀川大橋→矢倉緑地

●コースガイド

最後のエリアは豊里大橋から河口の大阪湾まで。右岸・左岸ともに堤防はアスファルトの舗装道として整備されている。但し、橋や鉄橋が16カ所もあり、その上ガスや電線といったライフラインがいくつか川を横切っているために、その下をくぐりながら河口を目指すので、一直線に歩けるわけではない。

左岸は鉄橋や橋ごとに左手に迂回路が設けられているので（赤川鉄橋の付近のみ河川敷を歩く）、河口まで比較的スムーズに歩きやすい。

これに比べると右岸は迂回路が一部車道と重なるために歩きづらく、十三大橋あたりから伝法大橋までは、河川敷に下りて歩くことをおすすめする。

伝法大橋を越えたあたりから、両岸ともに石畳の道が川のすぐそばに続き、潮の干満も影響して、波打ち際を歩いているような河口らしい気持ちのいい道が続く。北港ヨットハーバー、舞洲（まいしま）へと続く左岸に比べ、河口が矢倉緑地として海際に整備された右岸の方が、淀川歩きのエンディングにふさわしい。

●周辺ガイド

城北公園（しろきた）

明治の大改修の折り、その川跡を利用して作られた公園。堤防からそのまま公園に入ることができる。園内にはしょうぶ園があり、約350品種、1万3000株ものハナショウブが咲き乱れる。38年前に開園した関西初の観賞用のしょうぶ園で、見ごろは6月中旬頃。開園は通常5月末から30日間、10〜16時30分、200円、無休。☎06・6928・0005（公園管理事務所）

千人つか（せんにん）

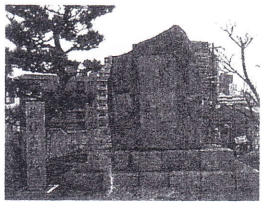
城北公園に下りる階段のそばに立つ。大阪大空襲の時に身元不祥の戦死者を荼毘に付したと台石に刻まれている。傍らに平和地蔵の祠も。

わんど

城北公園あたりの河川敷一帯に緑のオアシスが広がる。わんどと呼ばれる湾入部のことで、ヨシなどの植物が茂り、魚が卵を産みつける貴重な自然スポット。淀川には大小約30のわんどが残るが、中でもここは規模が大きい。堤防には淀川に生息する魚がイラストで紹介された案内板もある。

蕪村生誕地（ふそん）

「是より下流」と刻まれた碑を過ぎると俳人蕪村の生誕地を記す碑が立つ。芭蕉と並び称される江戸時代の俳人で、享保元年（1716）摂津國東成郡毛馬村（今の都島区毛馬町）で生まれた。「春風や堤長うして家遠し」の句碑が並び立つ。背後にマンションがあり、詩情がわきにくいが、蕪村が詠んだそのままの長い堤防が河口に向って延びている。



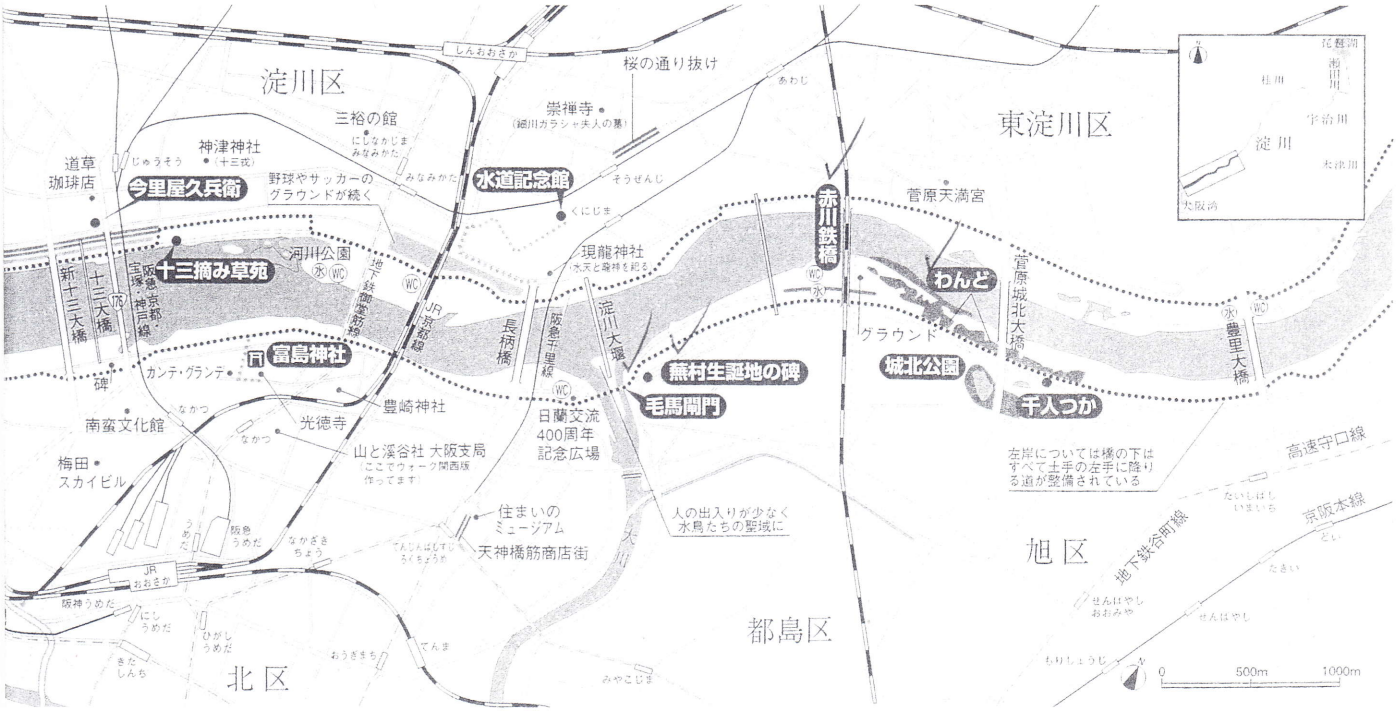
毛馬閘門（けまこうもん）

大阪を水害から守る大堰。人も車も立入禁止なので水鳥の聖域に。閘門の架橋を渡り終えると、河川改修に尽力した沖野忠雄の胸像がある。その先には新淀川開削を提案したオランダ人技術者、デ・レーケを称える記念広場もある。

レンガ造りの旧閘門

赤川鉄橋（あかがわてっきょう）

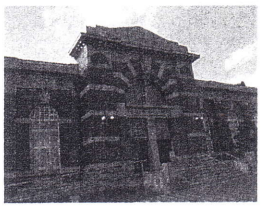
城東貨物線の淀川橋梁を地元では「18門鉄橋」と呼び、線路のすぐ横



に人が通れるだけの木橋が架かる。コンクリートジャングルの都会にあって、木の橋は珍しいのでぜひ渡ってみたい。タイミングが合えば貨物列車が汽笛を鳴らしてすぐそばを走り抜ける。

水道記念館

長柄橋付近まで来ると、右手にレンガづくりのレトロな建物が見えてくる。大正3年に柴島浄水場の送水ポンプ場として造られた建物で、昭和61年まで活躍。役目を終え、水道記念館として一般公開中。淀川の自然や歴史の展示を始め、わんどの様子がわかるパノラマ水槽などもあって見応え充分。9時30分～16時30分、無料、月曜休。☎06・6324・3191（入口は堤防を下り、JR沿いに淀川通りまで歩く）



十三摘み草苑

河川敷に造られた花畑。春にはナノハナやハナナなどが咲く。園内は自由に散策できるようになっていて、花摘みも楽しめる。

今里屋久兵衛

享保12年（1727）、今里屋久兵衛が十三の渡し場の茶店で出したのが始まりとされる「十三焼」（当時はあん焼きと呼ばれていた）が今に伝わる。米粉だんごの皮に小豆のこし餡を包んで焼いた5センチ大の一口餅で、よもぎと白の2種あり、ほどほどの甘さとさらりとした味が印象的。値段も20年間50円のまま。十三大橋の北詰にある本店は平成13年秋から30年ぶりに店を再開。店内で食べることもできる。淀川歩きの絶好の休憩スポット。十三駅西口に支店がある。本店は9～18時頃、日曜休。☎06・6301・1860

姫嶋神社

淀川大橋から阪神電車の踏切を越えて500mほど北西へ歩いた所にある。応神天皇の頃の創建とされる古社で、阿迦留比売命と住吉大神を祀る。かつての神崎川と中津川のデルタ地帯、海上交通の要路に位置し、姫嶋を詠んだ万葉歌碑が立つ。

矢倉緑地

淀川右岸と神崎川の河口部に、平成13年8月に完成した緑地。大阪市内唯一の自然海岸緑地とされ、潮だまりや野鳥観察所、芝生広場などがある。ここから先は海。阪神高速湾岸線の向こうに淡路島が島影を落し、夕日の名所としても注目の的に。対岸には舞洲ゴミ焼却場が見える。

舞洲ゴミ焼却場

矢倉緑地のあずまや

富島神社と佐伯祐三の墓所

中津の富島神社は、社伝によると足利時代には既に存在していたといわれる古社。隣接する光徳寺の養護学校の敷地には、この寺の次男として明治31年に生まれた日本を代表する画家、佐伯祐三の墓もある。富島神社は境内自由。佐伯の墓は養護学校に声をかけてから見学を。富島神社の西隣には大阪で老舗のチャイ喫茶カンテ・グランデがある。ウルフルズのメンバーがアルバイトをしていたことでも知られる。カレーやチャパティも美味。11～21時30分、第3水曜休。☎06・6372・0801

徳次郎の湯温泉

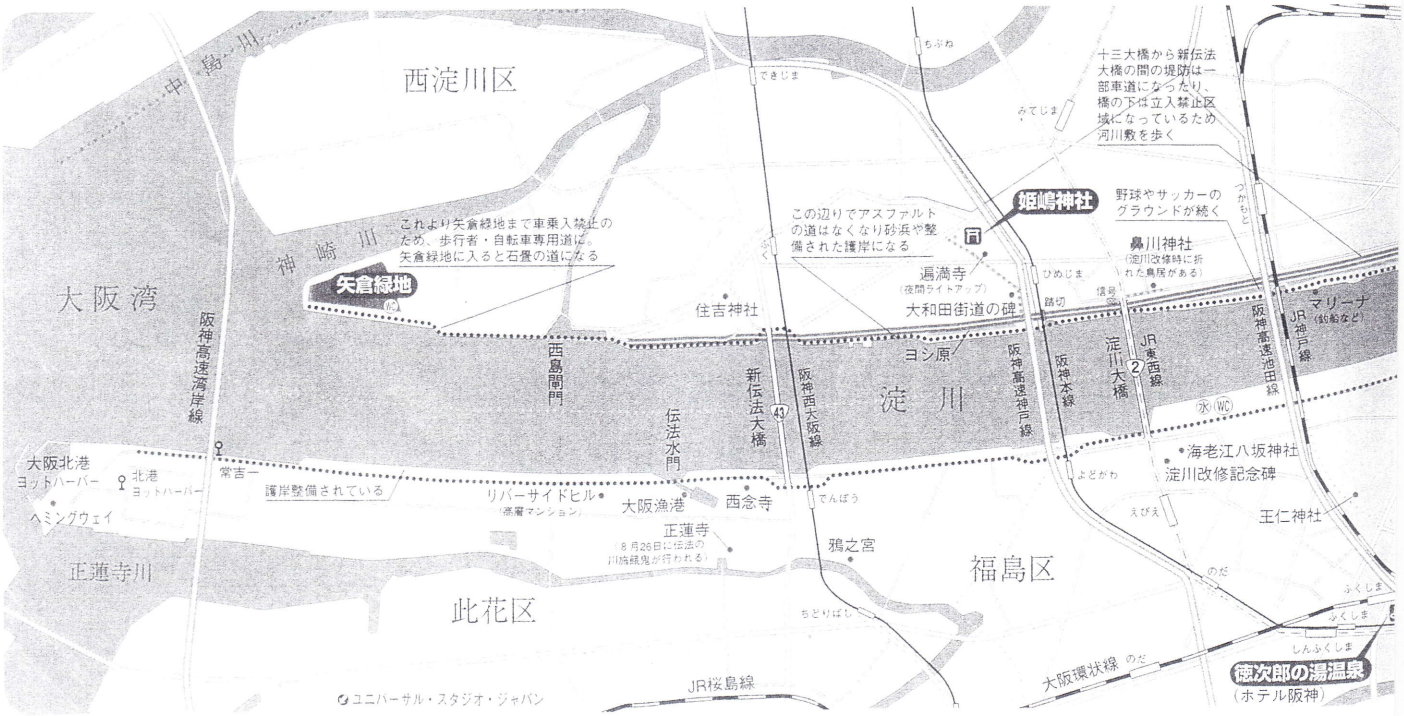
こんな都心に温泉が…。阪神電車福島駅前のホテル阪神に温泉が湧いている。日帰り利用もできるので、ウォークの締めくくりにおすすめ。10～21時（日・祝～20時）、無休、2500円。☎06・6344・1661

※ペア5組10名に入浴券プレゼント（P119参照）

●交通

起点：地下鉄谷町線太子橋今市駅から徒歩8分

終点：右岸は阪神西大阪線福駅へ徒歩35分。左岸は大阪市バス常吉一から西九条行きバスあり

●問い合わせ

大阪観光協会☎06・6635・3108